

議事録（議事要旨）【第1回委員会】

- 1 日時：令和3年7月1日（木）9時～10時
- 2 場所：青海フロンティアビル 19階会議室
- 3 議題：＜議題1＞施設概要及び付着生物への対応経緯について
＜議題2＞効果確認の実施について
＜議題3＞今後の開催予定等について
- 4 出席者：原猛也委員、眞道幸司委員、小島隆志委員
柏原弘幸委員、久野健一郎委員

5 議事要旨

- 各委員の紹介、設置要綱の説明の後、委員長の互選を行い、原猛也委員（日本付着学会副会長）を委員長に選任。

＜議題1＞

- 事務局から、消波装置の清掃、再設置の経緯等について報告した。
(委員からの主な意見)
- 付着生物の対策を検討する上では、外来種・固有種含む多様な海洋生物の種類、付着時期等を把握し、付着時期を見据えた対策を検討すべきである。
- 付着生物対策において、付着生物をゼロにすることは非常に難しいため、費用とのバランスを取りつつ、求められる機能を確保する程度に付着生物の抑制をしていくことが重要である。

＜議題2＞

- 事務局から、効果確認を行う対策案の内容を報告した。
 - ① 海水電解装置案（電気分解で生じる次亜塩素酸により貝付着を抑制）
 - ② 被覆カバー案（消波装置をカバーで覆い、貝付着・日当たりを抑制）
 - ③ 吊り上げ案（消波装置を定期的にワイヤーで吊り上げ干出）
 - ④ 石積み案（消波装置を石積みで支えて干出）
(委員からの主な意見)
- 効果確認の内容は妥当である。

- 効果確認の評価を行う上で、消波装置の構造や浮力、生物付着の程度と沈み込みの程度との関係について定量的な整理を行う必要がある。
- 今後、水温、塩分濃度等の状況や記録写真等、効果確認の評価に必要な指標・データを確認・計測すること。

<議題 3>

- 事務局から技術検討委員会の進め方について説明を行い、了解を得た（合計4回実施⇒7月、10月、12月、3～4月）。

以上